



9月定例会

委員会報告

各委員会で議論となったものを委員長がまとめたものです。特別委員会も報告しています。

総務文教委員会

委員長 池田 光政



点検中の小学校プール排水口

当委員会では、条例改正議案1件、補正予算の審査を行った。
議案内容は次の通りである。今回の改正は、明治時代に作られた「監獄法」が廃止され、新たに「刑事施設及び受刑者の処遇等に関する法律」が制定され、条文中の「監獄」という文言を「刑事施設」と改めるものであり、全員賛成にて可決した。

補正予算の主なものは、職員の産休や育児休業のためにその代替職員として雇用する臨時職員の賃金や共済費の増加、また、市民と行政との協働のまちづくりを推進することを目的として、「協働の指針」を策定するために設置する検討委員会の経費、小学校の再編の検討を行うために設置する審議会の経費、及び小中学校のプールの排水口の安全対策の緊急対応に伴う経費の増額補正である。他に小学校図書充実のために使

つて下さいと「さわやかグループ」より寄附を受けたので、一般財源を加えて図書購入費を増額したものであり、全員賛成にて可決した。

厚生委員会

委員長 貝田 義博

条例改正4件、補正予算4件、他2件を審査し、全議案を可決した。

乳幼児医療費の支給を改正する条例の改定は、平成19年1月1日から3歳未満児に対して新たに初診料と往診料の自己負担をなくすもの。これは少子化対策の一環として行うもので、対象人員は、今年3月末で約1,300人である。財源は市と県が各々2分の1。
一般会計では、公的介護施設整備事業補助に7,500万円を計上。市高齢者保健福祉計画では、3中学校区に小規模多機能型施設と認知症対応型の通所介護施設を整備するとしている。今回、国からの交付金を活用して整備を行うものであり、8月にはその内示もおりている。
今後、事業者の募集と選定のための作業を経た上で、来年2月以降には業者の指定を行う予定である旨の説明があった。
また、訪問指導に要する費用1,500万円は、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)対策のためモデル事業として県より委託を受け実施するもの。住民検診の際に腹囲測定などを行い、生活習慣の改善

指導に役立てる。

国民健康保険特別会計では、今年10月から新たな制度として発足する県内の市町村国保による共同事業に2億7,000万円余の拠出金が組まれた。これは1件あたり30万円以上の医療費については、今後共同して事業を行うもの。市町村間の国民健康保険税の平準化と財政の安定化を図ることを目的にしている。

日本でのメタボリックシンドロームの暫定的な診断基準

必須要件

肥満：ウエスト(おへその高さでの腹囲)が男性で85cm以上、女性で90cm以上
上記の要件に該当し、下記の3項目中、2項目に該当する場合はメタボリックシンドロームと診断できる。

- ①高脂血症：中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満
 - ②高血圧：最大血圧で130mmHg以上または最小血圧で85mmHg以上
 - ③糖尿病：空腹時血糖値が110mg/dl以上
- ※診断基準については、近年中に見直される予定のため「暫定的」となっています。

建設経済委員会

委員長 島 啓三

当委員会では補正予算2件、市道路線の認定2件、訴えの提起1件、船小屋温泉振興組合規約の変更等の審査を行い全議案を原案通り可決した。

一般会計補正予算中の果樹産地福岡グレードアップ事業(約400万円)は県単事業で筑後ぶどう第3生産組合及び筑後なし第2生産組合が、ぶどう及びなしの改植等に取り組む事業への補助金である。
住宅整備事業に要する経費は、南西部住宅建設の事業進捗に伴い、工事費に組み替えて事業の推進を図るものである。

次に、債務負担行為の1,000万円は昭和56年ごろ同和対策事業により上北島地区の水路工事が行われた際、地積図の分筆等が行われておらず、現在の水路と